

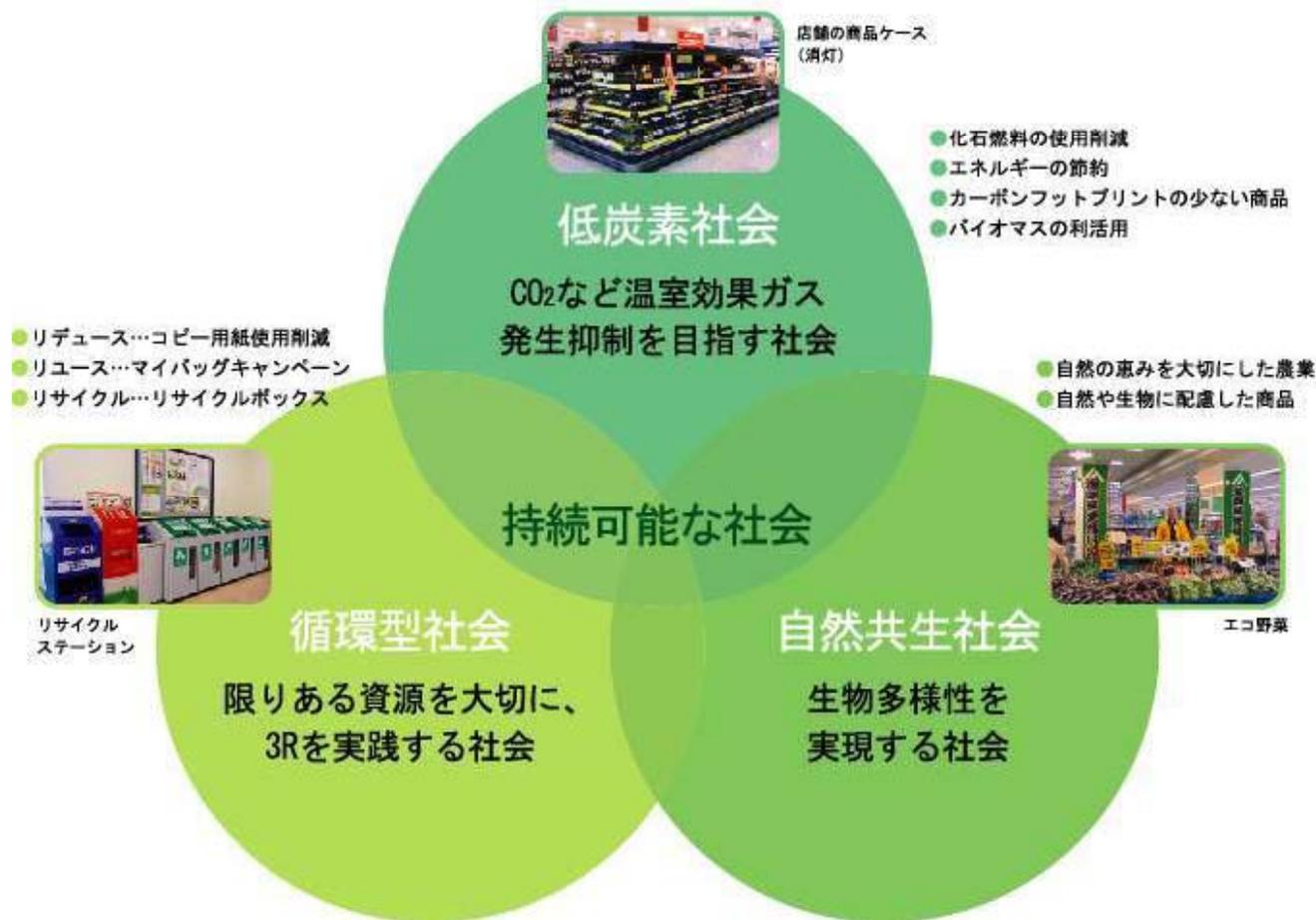
未来の子供達に美しい自然を残したい

～持続可能な社会をめざして～

ユニー株式会社 環境社会貢献部
百瀬 則子

持続可能な社会を目指して

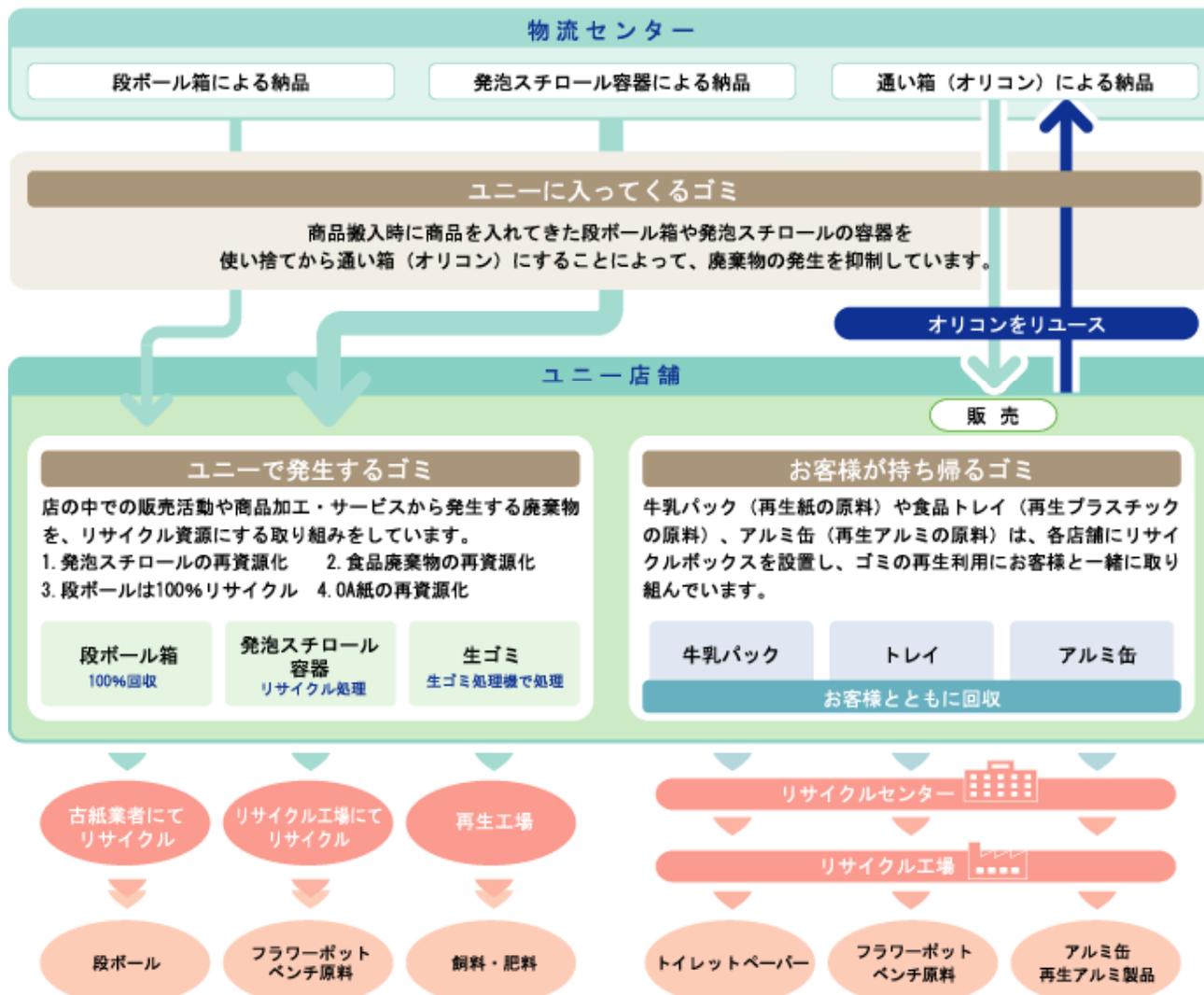
現在のことだけではなく未来に向かって地球環境を壊さずに、
人間や地球の生き物が共存していく社会を構築していくこと、
この未来に続く仕組みが持続可能な社会です。



廃棄物を削減する取り組み

企業活動から発生する廃棄物の発生抑制・リサイクル推進

廃棄物の再資源化



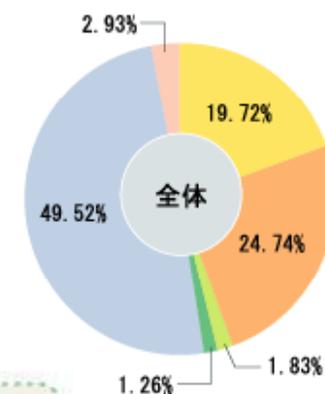
廃棄物を削減する取り組み

企業活動から発生する廃棄物の発生抑制・リサイクル推進

廃棄物の発生源や種類を調べ、現状を把握します。

店舗・本社・事務所から排出する廃棄物は全て計量しています。

廃棄物構成比率



廃棄物計量システム



● 廃棄物は排出場所・分別毎にバーコードで管理し、計量器に載せ、重量を計ります。



● シールを発行します。同時にデータは事務所の端末に記録、集計され、本社環境社会貢献部の端末に送信されます。テナントや売場には毎月集計された結果が告知されます。



● 計量した廃棄物は、それぞれ温度管理された廃棄物庫で保管されます。腐敗しやすい食品廃棄物などは冷蔵保管されます。

廃棄物を削減する取り組み

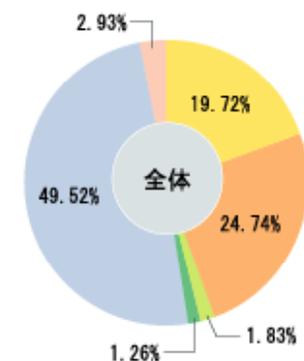
企業活動から発生する廃棄物の発生抑制・リサイクル推進

廃棄物排出量

(単位: kg)

区分	種類	2008年度	2009年度	2010年度	前年比 [%]	
可燃ゴミ	焼却ゴミ	一般可燃ゴミ	11,624,610	12,291,571	12,128,956	98.7%
		ビニール(食品系)	4,611,976	4,837,767	4,779,492	98.8%
		小計	16,236,586	17,129,338	16,908,448	98.7%
	食品ゴミ	生ゴミ	15,139,497	16,196,931	14,777,363	91.2%
		魚のアラ	3,917,146	4,052,794	3,712,463	91.6%
		てんかす	1,129,712	1,217,085	1,302,481	107.0%
		廃食用油	1,249,330	1,441,346	1,417,817	98.4%
		小計	21,435,685	22,908,156	21,210,124	92.6%
不燃ゴミ	ビン	807,775	961,344	1,034,530	107.6%	
	缶	534,507	558,496	533,041	95.4%	
	小計	1,342,282	1,519,840	1,567,571	103.1%	
発泡スチロール		1,154,118	1,188,429	1,082,640	91.1%	
段ボール および 再生紙	段ボール	46,204,748	41,127,317	40,441,290	98.3%	
	紙類(再生可)	1,642,135	1,966,093	2,012,196	102.3%	
	小計	47,846,883	43,093,410	42,453,486	98.5%	
その他	プラスチック	527,375	502,768	477,839	95.0%	
	ビニール(衣住系)	929,543	965,095	966,398	100.1%	
	ペットボトル	270,022	320,172	370,258	115.6%	
	陶器・ガラス	106,359	113,614	121,284	106.8%	
	金属カス	168,866	181,303	152,504	84.1%	
	その他	541,833	489,410	424,671	86.8%	
	小計	2,543,998	2,572,362	2,512,954	97.7%	
合計		90,559,552	88,411,535	85,735,223	97.0%	

廃棄物構成比率



企業活動から発生する廃棄物の発生抑制・リサイクル推進

食品廃棄物リサイクルシステム

店舗から排出する廃棄物の約25%が食品廃棄物です

2001年に食品リサイクル法が施行

食品関連事業者の義務・・・排出抑制・再生利用・減量 20%

1 安全であり環境負荷が少ないこと。
(大気汚染・水質汚染を予防し、省エネであること)

3 経費が抑えられること。
(公共処理料金との比較)

2 再生資源として有効であること。
(有価資源になり再廃棄しない)

4 継続できる方法であること。
(リサイクルルートが確立していること)

2007年に食品リサイクル法が改正されました

●リサイクル率の目標値は業界別に設定されました。

2012年までに

食品製造業…85%

食品卸業…70%

外食産業…40%

食品小売業…45%

●食品リサイクルループが制定されました

食品廃棄物リサイクルシステム



企業活動から発生する廃棄物の発生抑制・リサイクル推進

食品リサイクルループの構築

全国初の再生利用事業計画認定

愛知県ヒラテ産業・JAグループ [愛知県]

サークルKサンクスを環の中に組み入れ、さらに食品残さの搬入地域を拡大しました。



2007年10月第1回環境省
食品リサイクル推進環境大臣賞最優秀賞
受賞



食品廃棄物リサイクルシステム

企業活動から発生する廃棄物の発生抑制・リサイクル推進

食品リサイクルループの構築

D. I. Dバイオマスリサイクルシステム・JAグループ [愛知県]



食品廃棄物リサイクルシステム

企業活動から発生する廃棄物の発生抑制・リサイクル推進

食品リサイクルループの構築

横浜市有機リサイクル・アリタさんちの豚 [神奈川県]



食品廃棄物リサイクルシステム

企業活動から発生する廃棄物の発生抑制・リサイクル推進

食品リサイクルループの構築

ブライトピック・プリマハム・山崎製パン [千葉県]



企業活動から発生する廃棄物の発生抑制・リサイクル推進

リサイクルループを構成するパートナーシップ

私達がそれぞれの役割を果たすことによって、リサイクルの環が完成します。食品をムダにせず、ゴミも減らすことができる、地球にやさしいライフスタイルです。「安全安心で新鮮、そしておいしい」、作った人の顔が見える農産物をお客様にお届けすることが、ユニーの役目と考えています。



食品関連事業者  食品循環資源を排出する店舗

- 調理クズ・魚アラ・売れ残り・残飯などから異物を排除し分別、計量する
 - 分別マニュアルの作成
 - 従業員・テナントへの教育の徹底
- 食品循環資源の品質を確保するために、適正に保管する
 - 廃棄物庫の整備 (清掃・冷蔵施設)
 - 保管容器の整備 (分別容器・洗浄)

再生利用事業者 

- 品質の高い再生製品（堆肥・飼料）を製造する
 - 原料である食品循環資源・製造方法・施設・保管の基準作成と監視
- 農業生産者のニーズにあった再生製品を製造する
 - 再生製品の販売先を確保し、農業生産者とパートナーシップを図る

農業生産者  リサイクル農産物を消費者に提供する

- トレーサビリティの確立（生産者の顔が見える農産物）
 - 農業生産者の生産技術と適正な再生製品（堆肥・飼料）によって、安全安心な農産物を提供してもらう

環境にやさしい容器包装

環境にやさしい容器包装

● 容器包装をできるだけ使わない販売への取り組み

1 容器包装をできるだけ使わない販売への取り組み

レジ袋のように、お客様と一緒に「使わなくてもよい容器包装」を削減する。

- ノーレジ袋キャンペーン
- レジ袋無料配布の中止
- ばら売りなど、容器包装を使わない販売
- どうしても使用する容器包装の小型化・薄肉化
- トレイを使わない販売の検討
- 贈答品などの簡易包装

● レジ袋辞退率の推移

(単位：%)



● レジ袋使用量の推移

年度	枚数 (単位：千枚)	重量 (単位：t)	備考
2005	340,611	2,195	愛・地球博エコマネーに参加
2006	333,630	2,075	ノーレジ袋キャンペーン開始
2007	310,559	1,818	レジ袋無料配布の中止
2008	309,222	1,851	96店舗で無料配布中止
2009	134,678	1,029	196店舗で無料配布中止
2010	116,749	964	約73%の店舗で無料配布中止

※2008年にユースストアと合併し80店舗増える

環境にやさしい容器包装

販売した商品由来の家庭ごみを削減する取り組み

●容器包装をできるだけ使わない販売への取り組み

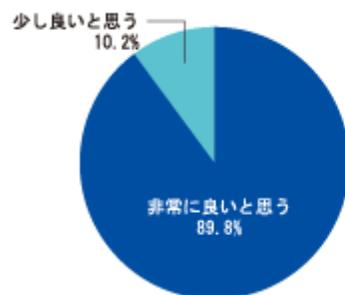
トレイを使用しない販売への取り組み



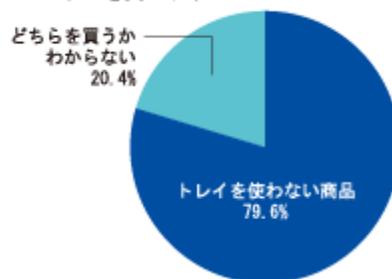
レジ袋の無料配布中止を8割近くの店舗で実施し使用削減が進み、次の容器包装削減には食品トレイを取り上げました。名古屋市緑区のピアゴ清水山店精肉売り場で、2011年3月23日から4月8日までの約2週間、トレイを使わない販売の実験を行いました。2008年にアピタ千代田橋店（名古屋市）で行った実験では、トレイを使わずポリ袋を使用した販売を実施しましたが、今回は紙シートにラップを使ったもので販売しました。購入前アンケートの「トレイを使わない販売」について、「非常に良い」と答えた方が89.8%でしたが、「トレイを使わない商品を買う」という回答は79.6%。実際にトレイを使わない商品の販売個数は約22%でした。購入理由は、「ゴミが減る」「環境にやさしい」「冷蔵庫での保管に便利」などでした。「トレイを使わない商品」の購入割合が高いものは、「鶏胸肉」（49.5%）、「豚ロースカツ」（24.9%）でした。

今後も、トレイを使わない販売について、お客様や売り場と一緒に検討していきます。

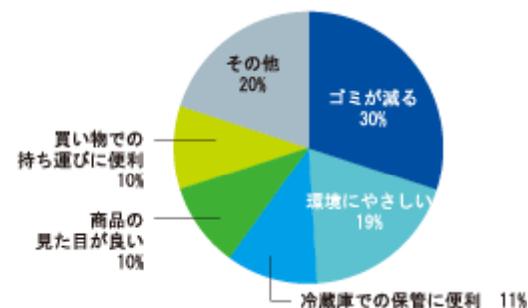
●トレイを使わない商品の販売をどう思いますか？



●「トレイ使用商品」と「トレイを使わない商品」どちらを買いますか？



●「トレイを使わない商品」を買った理由





販売した商品由来の家庭ごみを削減する取り組み

●使った後の容器包装を廃棄物にしない取り組み

2 使った後の容器包装を 廃棄物にしない取り組み

お客様が商品と一緒に持ち帰った
容器包装を回収し、再生資源にする。

- リサイクルによる店頭回収
- 再生資源として製品(トイレットペーパーなど)
やベンチなどにリサイクル
- 使用済みレジ袋を再びレジ袋にリサイクルする

環境にやさしい容器包装

販売した商品由来の家庭ごみを削減する取り組み

●使った後の容器包装を廃棄物にしない取り組み

店舗のリサイクルボックスで、お客様の家庭から使用済み容器包装を回収し、物流の戻り便でリサイクルセンターに搬送し、計量・圧縮した後リサイクル工場へ搬出しています。

容器包装リサイクルの仕組み



環境にやさしい容器包装

販売した商品由来の家庭ごみを削減する取り組み

●使った後の容器包装を廃棄物にしない取り組み

■2008年にユーストアと合併し、店舗数が増えました。



販売した商品由来の家庭ごみを削減する取り組み

●サステイナブル原料を使った容器包装への取り組み

3 サステイナブル（持続可能な）
原料を使った
容器包装への取り組み

限りある化石資源（石油）を使用せず、
繰り返し栽培可能な植物資源を原料に
する。

- バイオマスプラスチック製容器の使用
- 使用済みバイオマスプラスチック製容器の
リサイクル

環境にやさしい容器包装

販売した商品由来の家庭ごみを削減する取り組み

●サステナブル原料を使った容器包装への取り組み



ヒルズウォーク徳重ガーデンズ

環境にやさしい店づくり

エネルギー使用量と二酸化炭素 (CO₂) 排出量の削減に取り組んでいます。また、リサイクルステーションの設置 (ゴミの分別、少量化、リサイクル等) や限られた資源を有効に使う配慮、ECOインフォメーションにより環境への取り組みの啓蒙活動などを行っています。



●壁面・屋上緑化
外壁に壁面緑化を導入。ヒートアイランド対策と断熱効果があり、建物の温度上昇を抑え空調使用量の削減にもなります。



●太陽光発電
太陽光パネルを導入。太陽の光で電気をつくり、得られた電力を施設内で使用することにより省エネを図っています。



●街灯
太陽光発電型街灯を採用。日中に集められた光で夜間市街地を明るく照らし、省エネルギーでCO₂削減効果があります。



●トップライト
トップライトに2重のガラスを採用。夏は太陽の放射しを抑え、冬は室内の空気を逃さない保温効果があります。



●ECO床材
外構の床材料に、採石塵土・廃ガラスなどのリサイクル原料を使用。使用資源を削減し環境負荷を軽減しています。



●ECOウッドルーバー
木材とプラスチックのリサイクル資材を使用。環境負荷が少なく、見た目にも涼しげで、遮光性にも優れています。



●井戸水
芝生や植栽の散水に井戸水を利用。省エネルギーで上水使用量の削減を行います。



●照明
通路の間接照明やトイレなどの施設内照明の一部にLEDを使用。長寿命で交換も少なく電気使用量を抑える効果があります。



●トイレ
少ない水でも洗浄できる節水型のトイレを採用。少ない資源で環境負荷を抑え、CO₂削減にもつながります。



●空調
空調熱源に電気式ターボ冷凍機を採用しています。省エネルギーでCO₂排出量を削減します。

地球温暖化とは・・・

地球環境の現状

CO₂ などの温室効果ガス（GHG）の増加により、地球温暖化が進んでいるといわれています。

温室効果ガスは、化石燃料（石油・石炭など）をエネルギーとして電気を起こしたり、自動車を走らせたり、冷暖房に使ったりすることにより、排出していることが原因です。



GHG: CO₂ (二酸化炭素) のほかに、メタン (CH₄)、亜酸化窒素 (N₂O)、フロン (CFCs・HCFs) などがあります。

エコ・ファースト制度

「エコ・ファースト制度」は、環境省が業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を促進するため、企業が自ら目標を決め、環境大臣に約束するものです。ユニーは2008年に、食品リサイクルに関するトップランナーとして、業界唯一エコ・ファースト企業として認定されました。現在では各業界から選ばれた環境活動のトップランナー 38社が持続可能な社会の実現を目指し活動しています。

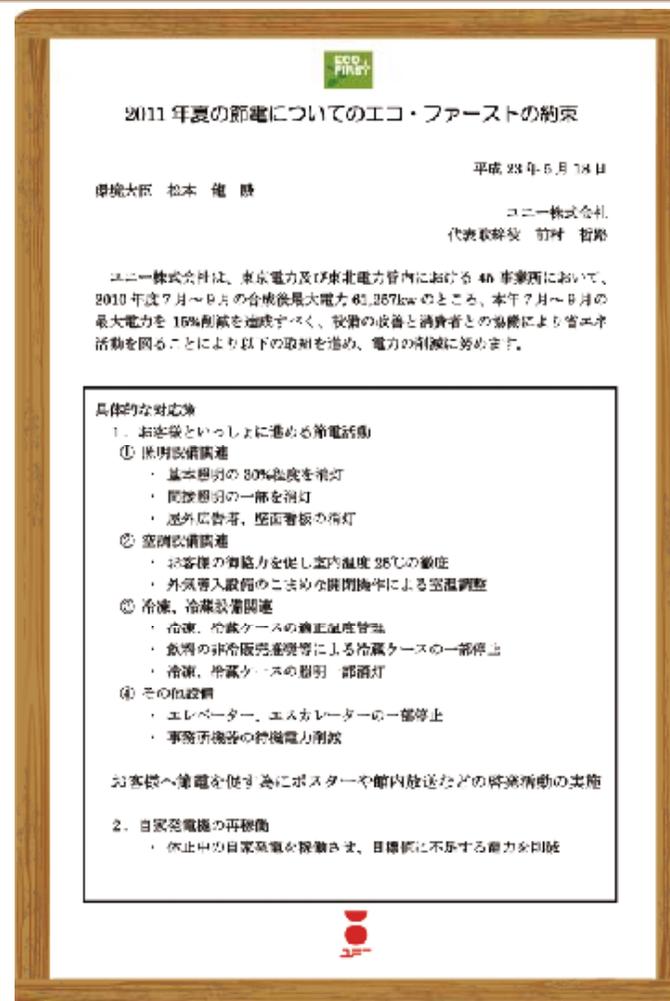


エコ・ファースト・マーク

ピーク電力15%削減のエコ・ファーストの約束

2011年5月18日、環境省でエコ・ファースト企業28社が一同に集い、環境大臣にピーク電力15%削減を約束しました。この約束は、お客様と一緒に節電する項目と、店舗施設の活用についての項目から成っています。

ユニーは小売業として唯一この約束に参加しましたが、メーカー各社と異なり、自社の都合や計画だけで対応できるわけではなく、お客様のご協力や出店しているテナント各店との協働で進めていかなければなりません。店舗の照明や空調温度設定など、来店されたお客様にご理解いただきながら、節電対策を進めています。



節電の約束

2011節電の約束



東京電力・東北電力供給地域の店舗では
ショーケースの照明を消灯



愛知県稲沢市の本社事務所では、
従来より必要な照明だけを点灯（昼休み）

お客様と一緒に節電

節電活動は店舗だけにとどまらず、お客様の家庭でも節電に取り組んでもらえるよう活動しています。ユニーでは日常生活の工夫や省エネの提案を「節電ライフ」という冊子にして配布しました。特に気温の高い夏を、生活の知恵や省エネ商品で乗り切る提案をしています。省エネライフで節電しながら暑い夏を乗り切るヒントを掲載、節電を応援しています。



バックヤードの照明

「必要な場所で必要な時だけ点灯する」と、店舗のバックヤードや事務所の電灯にはプルスイッチ（紐）をつけています。特にバックヤードには、作業や設置場所の状況を調べ、一つひとつのスイッチに「常に点灯」「必要な時だけ」を表示しました。



環境配慮商品

CO2 の見える化—カーボンフットプリント
商品の一生・・・ライフサイクルアセスメント(LCA)



環境に配慮したオリジナル商品「eco!on」(エコオン)

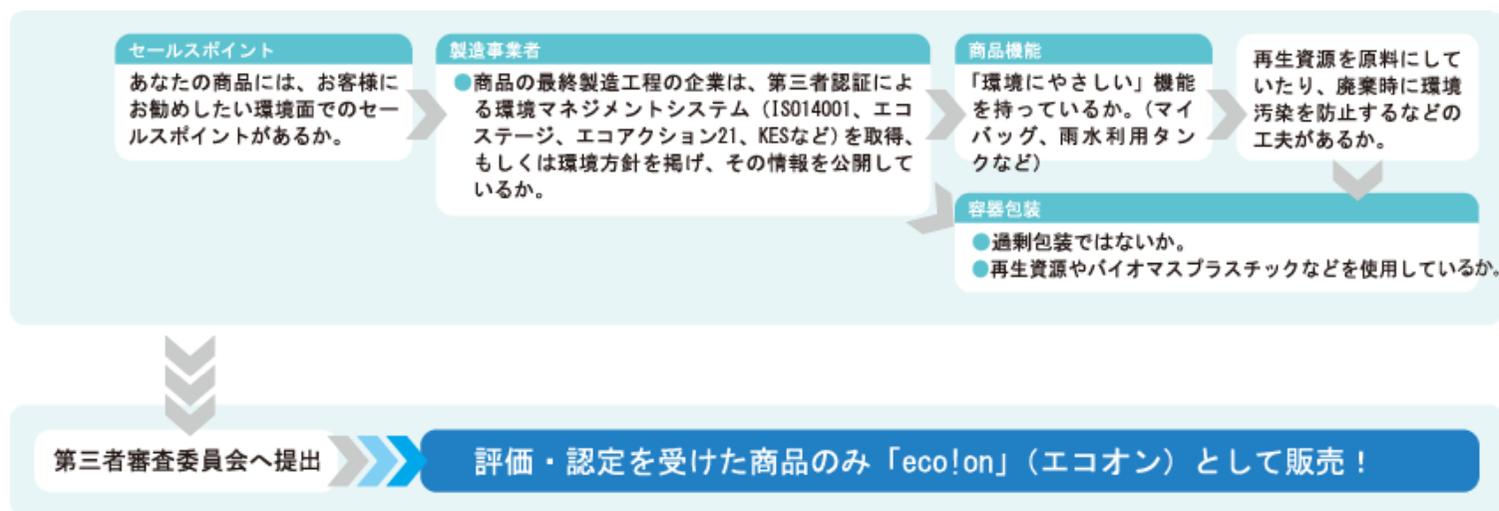
「eco!on」の考え方

「eco!on」は、環境負荷の少ない安全安心な商品を提供することにより、お客様の快適な生活を支援し、持続可能な社会構築をお客様と一緒に推進していくことを目指しています。また、環境配慮商品を生産する生産者を支援します。

- 1 お客様と一緒に育てていく環境配慮型商品です
- 2 ユニーが定める品質基準を満たしています
- 3 ユニーが定める環境に配慮した生産条件を満たしています
- 4 「eco!on」第三者審査委員会で審査を受け認定されています(毎年見直しを実施)

「eco!on」商品が販売されるまで

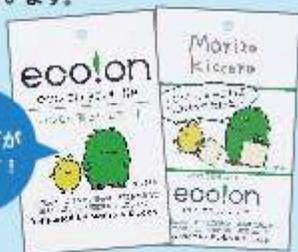
商品部の商品開発担当者がオリジナル商品を開発し、環境配慮商品「eco!on」の認定を受けるため、商品やメーカーに関する情報や認証などの資料を添えて、第三者審査委員会に提出します。



「Teco!on」の商品

特別なものではなく、日常生活に欠かせない商品を環境に配慮したものにすることで、地球環境保全に貢献していることとなります。「Teco!on」は、たくさんのお客様と一緒に低炭素社会・持続可能社会を築いていくことを目指しています。

このタグが目印です！



●アローザ トイレットペーパー
リサイクルボックスで
回収した牛乳パックが
原料



●マグボトル
何度も繰り返し使用で
きるのでゴミを出さな
い



●特別栽培の無洗米
お米を研がないた
め河川を汚さない



●カルキュロ エコ
紳士用ドレスシャツ
使用済みペットボトルが原



●さとうきびうまれのプレート・ボウル
木材を使わないでさとうき
びから作ったボウル



●モリゾー・キッコロ ショッピングバッグ
レジ袋を使わないためのショッピングバッグ



●洗濯洗剤
植物原料の使用は大気中のCO₂（※
）の増加抑制に貢献
※1990年当社商品に比べCO₂排出量を51%削減



●泡のハンドソープ
店舗から出た使用
済み食用油が原料

おかいもの革命！リサーチーズクラブ

消費者がお買い物の中で感じている素朴な「？」や「あったらいいな！」というアイデアを持ちより、お店と一緒に考え・実現する場として「おかいもの革命！リサーチーズクラブ」がアピタ千代田橋店を拠点に活動を行っています。



担当バイヤーとミーティングで
日頃の疑問や要望を直接出し合う



地元産の旬の野菜のオリジナルPOPを
売場に設置



PB商品は実際に使用した感想をPOPにして
消費者仲間に情報提供

Re DESIGN PROJECT (リ デザイン プロジェクト)



プロジェクトの目的

- ①循環資源（未利用資材）の活用
- ②ファッション性を取り入れたエコ商品を作成
- ③授産施設とのコラボレーション（障がい者自立の応援）
- ④デザイナーの卵への「環境」「社会貢献」の啓発

Re DESIGN PROJECT (リ デザイン プロジェクト)

コンテストでデザインを決定

名古屋市近隣のファッション専門学校6校（愛知文化服装専門学校、OKA学園トータルデザインアカデミー、中部ファッション専門学校、名古屋学芸大学、名古屋ファッション専門学校、名古屋モード学園）の学生を対象にコンテストを行い、商品化するものを選びました。各校で説明会を行い、「未利用資材を使う」「授産施設の技術レベルで生産できるもの」「商品として通用するもの」という条件と、素材を提供して学生達の参加を呼びかけました。ファッション性を取り入れたエコ商品は、チャリティーとして販売するのではなく、「私の好きなエコ商品」としてお客様に購入していただきました。



説明会の様子

Re DESIGN PROJECT コンテスト (2010)

作品テーマ「みんなにあったかいクリスマス…」

- 「みんなにあったかいクリスマス」を連想させる、未発表のオリジナル作品
- 授産施設で生産することができる「結ぶ」「縫う」「刺し子」の手法を使った作品
- 未利用資材を80%以上使用した作品
- 応募カテゴリー
①雑貨…小さなぬいぐるみ・クッションなどインテリア用品、
②バッグ…エコバッグ・巾着・箸袋・お弁当袋など、③クリスマス用オーナメント

デザイン選考

ユニーの住関本部商品企画開発部・環境社会貢献部、大森授産所のメンバーが次のような観点で審査しました。

環境に配慮しているか

商品化が可能か

消費者にとって魅力ある商品か

授産所が生産に関われるか



選考会場



応募総数370点

Re DESIGN PROJECT (リ デザイン プロジェクト)

2010リ デザイン プロジェクト デザイン入賞者発表会および表彰式

稲沢市のリーフワーク稲沢で、素材提供に協力いただいた企業・団体や参加校、ユニーの関係者などを招き、入賞作品の発表と表彰式を開催しました。



表彰式



入賞者



作品展示



作業風景

授産施設に生産をお願い

授産所に通う障がい者の方に仕事をする機会を創り出し、公正な対価を支払うことで、自らの力で暮らしを向上させ、自立するよう支援します。素材の提供や製品の販売先が決まっているので、収入を確保することができます。商品のデザインや販売などを企業が協力することにより商品価値や品質が向上し、販売が拡大できます。

また、このプロジェクトがメディアや店舗で紹介されたことにより、社会において授産所に対する理解や関心が高まりました。(参加授産施設/社会福祉法人大森福祉会 大森授産所、社会福祉法人名古屋身体障害者福祉連合会、身体障害者通所授産施設 名身連第一ワークス)

各地にあるアピタ店舗にて販売

入賞作品を製品化し、授産施設で生産する期間を考慮し、販売をクリスマスシーズンにしました。11月21日から12月25日までの期間、各地区の販売力のある大型店舗の専用売り場で販売しました。

販売店舗：

- アピタ長津田店（神奈川県）
- ピオニウォーク東松山（埼玉県）
- プレ葉ウォーク浜北（静岡県）
- アピタ松任店（石川県）
- アピタ福井大和田店（福井県）
- アピタ富山東店（富山県）
- エアポートウォーク名古屋（愛知県）
- リーフウォーク稲沢（愛知県）
- アクアウォーク大垣（岐阜県）
- アピタ千代田橋店（愛知県）



アピタ千代田橋店

社会貢献・地域貢献

AJU自立の家「ピア名古屋ワイン」へ売り場を提供し支援

ピア名古屋は、知的障がい者の授産施設です。岐阜県多治見市の修道院で栽培したブドウからワインを醸造し、販売することで自立を目指しています。また、世界の修道院で自家醸造したワインを直接仕入れて販売も行っています。ユニーは多治見市近隣の販売力のある大型店舗で、定番商品として「ピア名古屋ワイン」を販売し、ピア名古屋を応援しています。



ピア名古屋のメンバー



エコ博会場での販売



商品

地域貢献

「認知症の人と家族」支援 お買い物セーフティーネット

ユニーは認知症の方にもお買い物を楽しんでいただけるように、東海市・東海市社会福祉協議会・NPO「HEART TO HEART」に賛同し、「認知症買い物セーフティーネット実行委員会」の取り組みに協力しています。「認知症」は病気です。その症状を知り、どのようなお手伝いができるのか、また介護されている家族の方へのフォローなど、従業員や保安警備担当らにも教育を実施し、安心してお買い物ができるよう努めています。



店舗従業員に認知症を知り、対応について考える教育を実施



店長が警備や設備担当の関係会社の従業員に教育を実施



お客様に理解を促すために、パネル展を開催

地域貢献

難民衣料救済（日本救援衣料センター）

ユニーはNPOや他の企業のボランティアと協働で、お客様の家庭で不用になった衣料を回収し、日本救援衣料センターを通してアジア・アフリカ・南米に送りました。また、この事業には日本通運などからも協力を得ました。

衣料品回収店舗	実施日	共催企業	回収量 (t)	参加者数 (人)
アピタ刈谷店	2010年10月23日	デンソーボランティア支援センター	25	291
アピタ千代田橋店	2011年 5月25日	名古屋を明るくする会	15	500
アピタ豊田元町店	2011年 5月28日	トヨタ紡織ボランティア	11	140
アピタ安城南店	2011年 6月 4日	デンソーボランティア支援センター	11	306
アピタ刈谷店	2011年 6月11日	デンソーボランティア支援センター	25	315



地域貢献

ボルヴィック 1L for 10Lプログラム

エアポートウォーク名古屋で「1L for 10Lプログラム」を麒麟MCダノンウォーターズと共同で開催し、西アフリカのマリ共和国の子供達に井戸を贈りました。写真展や子供達のイベントを通して、地球環境と水問題について考える機会となりました。



「世界の医療団」写真展

「世界中の子供達を笑顔にしたい」と、先天的であったり、けがや病気、戦争などで傷を負って、顔に手術が必要な途上国の子供達に笑顔を贈る医療活動です。手術を終えて輝くような笑顔の子供達の写真を通して、平和を願う気持ちを伝え、手術費用のための募金活動を行いました。



アジアに車椅子を贈る 写真展

AJU自立の家が進める、車椅子を必要とするアジアの障がい者に車椅子を贈る活動に協賛、アクアウォーク、リーフウォーク、ヒルズウォークなどで写真展を開催。お客様や従業員に現状を知ってもらい、さらに車椅子を購入するための募金活動を実施しました。





子供環境学習 [環境について学ぶための取り組み]

ユニーは、持続可能な社会をつかっていくために、身近なユニーの店舗や循環型農業、リサイクル工場や大自然のなかで環境学習を実施しています。

<p>循環型農業体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食品廃棄物から再生資源になる過程の見学 ● 循環型農業で収穫体験 ● いろいろな生き物と一緒に生きていくことを学ぶ ● 畑の恵みをいただく 	<p>エコロお店探検隊</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 環境にやさしいお買い物 ● 廃棄物をリサイクルする仕組みの見学 ● バリアフリーなお店の見学 ● 廃棄物を使ったエコ工作 	<p>夏休み自然探検隊</p> <p>夏休みに白川郷の自然のなかで体験学習</p>
<p>地元NPOや地元企業との コラボレーション</p> <p>地元のたくさんの人たちから学ぶ</p>	<p>リサイクル工場見学</p> <p>廃棄物が再生利用される現場を見学</p>	<p>インタープリター養成</p> <p>お店探検や農業体験、自然探検で子供達の案内役（インタープリター）を行ってくれる人材を</p>

循環型農業体験

JAあいち海部での農業体験



稲刈り



バツタ採り

三功・酵素の里の農業体験



堆肥場



芋ほり



子供環境学習 [環境について学ぶための取り組み]

「エコロお店探検隊」環境学習

1 使い終わった容器の行方を見学

●リサイクルステーション

家庭から排出される容器包装を店頭回収しているリサイクルステーションを見学。リサイクルすればゴミではなく、再生資源として活用されることを学ぶ。



2 店舗から出るゴミの行方を知る

●廃棄物庫

店舗から出るゴミは細かく種類を分別し、計量・保管している店舗の裏側を見学。リサイクルの仕組みと「混ぜればゴミ」「分ければ資源」という分別の大切さを学ぶ。



3 環境にやさしいお買い物

●店内

「環境にやさしく」という意識を持って買い物をすることが、自然を守ることにつながることを体験。「ecolon」商品や環境配慮商品を売場で探したり環境ラベルの意味を学ぶ。



6 私達にできること

●認定証と記念品

毎日の生活の中で「地球環境のために自分ができること」を発表。最後に認定証の授与と記念撮影。



5 リサイクル工作进行体験

●工作体験

使わなくなったものを材料にしたリサイクル工作进行体験。捨ててしまえばゴミになるけど、工作に使うと新たな作品に生まれ変わる



4 ゴミを減らす取り組み

●果物売場

店舗で使用しているフルーツカップがトウモロコシから作られたバイオマスプラスチックであることを紹介。



●バックヤード

商品を運ぶときは、段ボールの代わりに繰り返し使用できる「オリコン」を使用



ユニー株式会社は、「エコ・ファースト企業」として 環境省より業界初の認定をいただきました



「エコ・ファーストの約束」を交わす
鴨下環境大臣とユニー(株)前村社長(平成20年4月21日)

① 食品リサイクルを適正かつ積極的に推進します。

② その他循環型社会の形成に向けた取組をお客様と一緒に積極的に推進します。

③ 地球温暖化の防止に向けた取組を積極的に推進します。

— 「エコ・ファースト制度」とは —

環境省が業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を更に推進するために創設した制度です。

未来の子供達に美しい自然を残したい



私たちは持続可能な社会の実現のために、
お客様や関係する方たちと一緒に、努めていきます。